

HELLO!!!



国際交流員
マルコ・
シュルツェ

Marco Schulze

内子町との別れはつらいよ！

春が終わりました。今年は残念ながら、桜の満開はあまり長く楽しめませんでした。また、川の水が少なかったため、蛍はあまり飛べなかったみたいです。でも、これから気持ちのいい夏が始まります。わたしは日本の夏が大好きです。毎日が無料のサウナ！ ドイツの夏は短いです。だから、わたしは日本人から見ると、日本の夏に対して変わった気持ちを持っていると思われるでしょう。

夏——アイスクリームとスイカの季節、海や川で泳ぐ季節、花火とキャンプの季節——楽しみにしています。これからまた、友だちもたくさん遊びに来るでしょう。天気がいい日に、内子町の魅力を紹介しながらぶらぶら町を歩くのは、とても気持ちがいいです。やっぱり内子町がいいなあ～。

内子町の店に入ると、必ず温かいあいさつが飛んできます。わたしの広報の記事を読んで興味を持った店員さんに声を掛けられ、楽しい会話が始まりました。散髪屋さんに行くと、かわいいお母さんが温かく迎えてくれて、格好良い床屋さんにもカットしてもらいながら、剣道や居合道の練習、出場した試合のことなどをよく話しました。スーパーでは、わたしに気付いた子どもがたまに大きな声であいさつしてくれます。ほかの子は、一緒にいる友だち

やお母さんの洋服を引っ張り、ひそひそ「丸子先生！ 見て！」とってから、元気に英語かドイツ語であいさつします。親切な店員さんは、話をしながら買った物を袋に入れるのを手伝ってくれます。昼休み、毎日のように、わたしのために丁寧にお弁当を作ってくれる弁当屋の店員さんがくれた笑顔は、いつもわたしの心を温めます。

本当に内子町はわたしにとって、故郷みたいです。

汽車の切符を買うとき、かわいい女性の駅員さんの笑顔と優しさによく助けられました。花屋の店員さんの笑顔も印象的です。友だちとよく行った居酒屋の温かい家族の皆さんも、とても心に残っています。サービスの良い旅行会社の皆さんも忘れられません。

たくさんの人に感謝したいのですが、お世話になったすべての人にお礼を書き始めたらきりがありません。そのくらい多くの方に支えられて、今まで楽しい内子生活を送ってきました。特に剣道と居合道の友だちには感謝しています！

3年間ここで働きたいと思っていましたが、残念ながら、内子町にいる期間は8月の初めまでとなってしまいました。それでも、お世話になった職場の皆さんにも大変感謝しています。わたしは今の仕事が好きです。いろいろな人に対し

て責任があるので、一生懸命に仕事を頑張るのは当たり前のことです。

国際交流員の仕事の中で一番好きなのは、やはり幼稚園・保育園・学校の訪問と、ローテンブルク市への青少年海外研修です。子どもたちはわたしにたくさんのことを教えてくれました。また、ドイツのことを教えるために、ドイツについて知らなかったことも勉強しました。今、内子町の子どもたちはドイツのことやドイツ語をたくさん知っているのが大変嬉しいです。訪問すると、子どもたちは自然にドイツ語であいさつしてくれるので、いつも故郷に帰ったような気持ちになりました。学校は楽しかったです。素晴らしい先生たちにもたくさん出会いました。

内子町での2年間は、自分にとってさまざまな新しい仕事に挑戦した期間でした。その挑戦はいつもうまくいったわけではありません。時には皆さんの期待に応えられないこともありました。それでも、国際交流員の仕事を通して多くのことを学びました。ここで学んだことを、次に行く場所でも生かしたいと思います。

内子町の皆さん本当にお世話になりました。ありがとうございます。内子町と、内子町の友だちとの別れはつらいですが、いつか、みんなと会うために必ずまた遊びに来ます。Auf Wiedersehen! (さようなら)